

名産品共産品

4 沃野

兵庫・アジア経済

工事関係者ら約150人が息を殺し、地面を見つめた。ミシッ、ミシッ。ひびが入った。

「すごい。この硬い岩盤が割れた」

昨年6月、香港の高層マンション群を見下ろす高台で、歓声が一斉に上がった。現場に自社開発の岩盤破碎機を持ち込んだ建設会社、神島組(西宮市)の神島昭男社長(65)は胸をなで下ろした。

香港・荊湾地区。日本とイタリヤ、中国のゼネコン3社が、洪水防止の排水路トンネル工事を進める。川からあふれた雨水を地下30メートルまで導き、全長約5キロ

脱・斜陽



トンネルを通って海に流す計画だ。しかし、雨水を地

下流す縦穴の掘削工事は、岩盤が硬く、3層ほどで立ち往生。さまざまな工法を試したが、歯が立たなかった。

「何とかありませんか」

昨年2月、神島組に電子メールが届いた。ゼネコンの担当者が、岩を割る独自工事もほとんどない。結果を聞きだ。

直徑6メートルの縦穴を1週間で約1層ずつ掘り進めることが分かった。騒音も振動もほとんどない。結果を聞きだ。

「足場用の資材を買ってほしい」。井上社長自ら昨年2月、ベトナムの建設大手の副社長を訪ねた。副社長は「こんなに質の高い資材は初めてだ」と快諾し、ベトナムの高い日本の建設機械や人材も使いたいという。井上社長は6年前、足場の設計部門を切り離し、資金の安い同国に子会社を設立。現地での人脈も広げた。

「橋渡し役になれるのではないか」。昨年6月、取引先の建設会社などと「中小企業ベトナム進出プロジェクト」を発足、現在20社が参加する。「今春には、実際に現地の事業に関わりたい」。沃野が射程に入った。(松井 元)

脚光浴びる 建設技術

岩を割る独自技術が、神島組の名を香港で一気に高めた。西宮市塩瀬町生瀬

飲料系廃棄商品のリサイクルなどを手がけるリヴァックス(西宮市)は、廃棄物の積み荷目録「マニフェスト」について、排出事業者が記載する際の負担軽減を図る新たなシステムを開発し、運用を始めた。ネットワーク上でデータが蓄積されるため、過去分も取り出しやすく、頻繁に改正される廃棄物処理法などへの対応も容易になると期待されている。(竹本拓也)

中小企業

子ども服・西松屋チェーン

「チエロキー」と

ライセンス契約

メーカー

西松屋は、単品ではなく、全身のファッションを提案して販売単価を伸ばそうと、トータルファッションに強いチエロとの契約を決めた。自社で製造し、従来ブランドと同じ低価格に抑える。西

◆フェリシモが色鉛筆を寄贈 通販大手のフェリシモ神戸市中央区はこのほど、同社の人気商品「500色の色えんぴつ」をあしなが育英会・神戸レインボーハウス(同市東灘区)と私立さくら保育園(同)に、それぞれ1セット寄贈した。同商品は2009年発売。同社は100セットを販売するたびに、1セットを世界の子どもたちに贈る「カラーリボンプロジェクト」を実施している。昨年未だに5万2千セットを売り上げたため、今後、各国の施設などに計520セットを順次贈る。

子ども服・用品の西松屋チェーンは、世界30カ国でラ

屋チェーン(姫路市)はライセンス展開している。

子ども服・用品の西松屋チェーンは、世界30カ国でライセンス展開している。